

NARA FOOTBALL LAB. 2025



実施報告書

**ONE
CLIP**

「サッカーの正解は1つじゃない」
自分に合った方法でどう楽しめるか？
どうやったら上手くいくか？

色々な方法や考えを学んで、試して、学んで、
試して、この工程を子供たちに楽しんでもらいたい！
という思いのもと、本イベントが企画されました。

プロ選手を「サッカー博士」とし、技術のヒントを
もらうと共に、目標達成するために必要な考え方も学
ぶ機会になればと考えております。

トッププロと関わることで、夢が目標になり、
自分自身で考えながら、変化していく自分を楽しむ。

「サッカーを科学する」

プロ選手との交流を経て、今までになかった
技術の変化、考え方の変化、心の変化をこの機会に
楽しみながら体感してもらうため、開催しました。

実施概要



- 主催 : ONE CLIP 株式会社
- ゲスト : 守屋都弥 (ユタ・ロイヤルズFC/ 奈良県出身)
田中美南 (ユタ・ロイヤルズFC)
永井建成選手 (湘南ベルマーレ)
- 対象 : 奈良県在住のサッカー少年少女 約100名
- 会場 : 奈良県フットボールセンター
- 日程 : 2025年12月21日(日)
- 内容 : 18:00~開会式・集合写真撮影
18:15~トレーニング開始
20:00~質疑応答、閉会式
- 参加費 : 無料

守屋 都弥

私自身も、参加してくれた子どもたちと同じ奈良県出身です。故郷と呼べる場所で、子どもたちと一緒にサッカーができることを、心から嬉しく思っています。

私も幼い頃、たくさんの方々にサッカーを教えていただきました。その経験があるからこそ、少しでも自分が指導に関わることで、地元への恩返しができると思っています。



コーチ
紹介

ユタ・ロイヤルズFC

田中 美南



はじめて会う仲間とボールを蹴る。
最初は緊張もすると思いますが、ボール1つで仲良くなれる、
それもサッカーの魅力だと思うので、
サッカーの技術だけでなく、新しい仲間を作ったり、お互い切磋琢磨して
みんなで一緒にプロや日本代表を目指して行ってほしい。
そんなメッセージを伝えられたらと思います。

コーチ
紹介

湘南ベルマーレ

永井 健成



参加してくれる子どもたちとは出来るだけ近い距離で接して、
いろんなことを伝えていきたいなと思います。
「たっちゃん」と気軽に呼んでもらって、仲良くなって、
少しでもサッカーが好きになって帰ってくれたら嬉しいです！



写真：開会式にて各コーチから参加者へメッセージが送られる

サッカークリニックに先立ち開催趣旨や協賛企業の皆さまを紹介させていただきました。

今年も守屋の地元、奈良県のサッカーチームに所属する小学4～6年生約100名が元気いっぱいに参加してくれました。

「プロになれると信じて頑張る気持ちを」

約2時間のトレーニングを裏のある時間とする為、現役プロサッカー選手である、守屋、田中、永井選手の3名による豪華なトレーニングが行われました。

開会式では守屋から、「私もみんなと同じ奈良県出身、プロになることだけ考えて練習してきました。みんなも必ずなれると信じて頑張って練習してください」というメッセージが送られました。

豪華コーチ陣による

トレーニング指導

本イベントは参加対象を小学4～6年生に設定、例年より高度な内容で実施しました。

ウォーミングアップからトレーニングまで、「観る・考える」といったポジション関係なく重要な要素を随所に取り入れ、かつ運動量の多いプログラムを実施しました。

また、各コーチがそれぞれの専門分野を活かし、さまざまな場面での確なアドバイスをを行うなど、本イベントならではの質の高い指導となりました。



写真：田中からも参加者へエールを送る

頭も身体もフル稼働させる基礎練習

サッカー選手になる上で重要な要素であり、守屋も得意とする、「止める・蹴る」を軸に、そこへ「考える」という要素も加え、ウォーミングアップから頭と身体をフル稼働させるトレーニングを行いました。

また、考える為には「見る」のではなく、「観る」ことが必要であり重要です。プロ選手はいつ、何を観ているのか、練習を通じて子どもたちに学んでもらいました。

ウォーミングアップでは、「ボール集めゲーム」というトレーニングを実施しました。自チーム・相手チーム・ボールの行方・相手の動き方を観て判断し、行動することを求める、ゲーム感覚のトレーニングです。その後は、動きながらのパス練習を行い、色分けされた子どもたちが自分とは異なる色の選手へパスを出さなければならぬというルールを設定しました。

常に周囲を観て判断する必要があるのであっており、コーチたちも実際に子どもたちとパス交換をしながらアドバイスを送っていました。



写真：アイスブレイクの「ボール集めゲーム」中に子どもたちを集めて動き方のアドバイスを送る永井選手



止めて、蹴る 考えて、走る

写真：プロ選手たちが参加者とパス交換をしながら、「プレー」と「言葉」両方で指導を行なった



シュートをFWとGK、 両方の視点から紐解き、科学する。

FWとGKの両視点で シュートを考える！

次は3対2 + GKというオフエンスが優位な状況を設定した実践的なトレーニングを実施しました。

多くのシュートチャンスが生まれる中、まずは日本代表のイーヌでもある田中が、シュートのコツを指導。コースの狙い方について、実践的なアドバイスをしました。

続いて、永井選手がGK目線の指導を担当。「GKがどこにシュートを打たれるのが嫌なのか」「どのような状況でパスを選択されると対応が難しいのか」など、GKならではの視点からアドバイスしました。

多角的な視点でサッカーを考え、チャレンジと失敗を繰り返しながら成功を目指す。本イベントの趣旨に沿った、普段ではなかなか学ぶことのできない特別なシュートトレーニングとなりました。



写真：現役プロGKに向かって参加者がシュートを打つ様子

大人も子どもも、 サッカーを純粹に楽しむ =ファンサッカー



トレーニングの最後は、守屋、田中、永井選手とスポンサーの皆様で「守屋チーム」を結成し、グループ分けした子どもチームと試合を行いました。

現役プロサッカー選手のプレーを間近に感じながら、トレーニングで学んだことを実践の中で活かし、大人相手にも果敢に挑んでいく子どもたちの姿を見ることが出来ました。

学びの中にも笑顔溢れる瞬間がたくさんあり、「サッカーは楽しい」と子どもだけでなく、大人も一緒に改めて感じることでできる時間となりました。

ギャラリー ①



ギャラリー ②



ギャラリー ③



ギャラリー ④

